

久留米大学バイオ統計センター

公開セミナー

講演者

西川 正子 先生

東京慈恵会医科大学
臨床研究支援センター 教授

生存時間解析における 競合リスクがある場合の解析方法

1つのイベントに対して複数の原因やイベントタイプなどで分類し、1つの原因又はイベントタイプが観測されれば他のそれらは観測できない(観察打ち切りが起こる)場合、生存時間解析ではそれらは競合リスクと呼ばれる。

競合リスクが存在する場合、経時的累積発現率の推定にKaplan-Meier推定量を用いる問題点は多くの論文で指摘され議論されてきた。

本講演では、まず、通常の生存時間解析(競合リスクがない場合)によく用いられる標準的な解析法を説明し、次に、それに対応する競合リスクがある場合の解析方法(競合リスクモデル)について解説する。

最後に、腎疾患領域の事例を用いて、競合リスクモデルの条件から外れた2つの負の相関があるイベントへの競合リスクモデル適用の拡張について簡単に紹介する。

2024年 6月 13日 (木) 18:00-19:30

久留米大学 バイオ統計センター コンピュータ室 (医学部B棟7階)

URLまたはQRコードより、前日10:00までにお申込みください

<https://biostat-kurume.stores.jp/>

✉ 久留米大学バイオ統計センター公開セミナー係
biostat_seminar@kurume-u.ac.jp

